

## 1 基本的な生活習慣について

- (1) 小・中学生とも朝食をとる習慣はついているが、就寝時刻が不規則で睡眠時間が少ない中学生が多い。
- (2) 普段、長時間テレビ・ビデオ・DVDを見ている児童・生徒が多い。

## 2 学習習慣について

- (1) 家庭であまり学習をしない児童・生徒が多い。小・中学生とも「全くしない」は全国に比べかなり多い。
- (2) 家で学校の宿題はするが、復習や予習をする児童・生徒は少ない。
- (3) 家にて自分で計画を立てて勉強している小学生は全国・県に比べ少なく、中学生は全国・県に比べかなり少ない。

## 3 学校生活について

- (1) 多くの小、中学生が、「学校で友達に会うのは楽しい」「好きな授業がある」と答えている。
- (2) 学校のきまり・友達との約束は多くの小、中学生が守っている。

## 4 家庭生活について

- (1) 朝食は、半数以上の小学生が「家の人と普段一緒に食事をしている」ことができているが、中学生では、かなり少ない。
- (2) 夕食は、ほとんどの小学生が「家の人と普段一緒に食事をしている」ことができおり、多くの中学生もできている。
- (3) 「家で食事をするとき、テレビを見ている」と答えた児童・生徒が多い。
- (4) 「家の手伝いをしている」と答えた小学生が多い。中学生は約半数である。
- (5) 「家の人と学校の出来事について話をしている」は、小学生で多く、中学生はやや少ない。
- (6) 中学生の携帯電話の所持、通話やメールの回数はいずれも、全国に比べてかなり高く、県並みである。小学生は、全国より高く、県よりやや低い。  
また、毎日通話やメールをしている中学生が全体の半数近くいる。
- (7) 学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしている小学生は県に比べ少ない方である。中学生も県よりやや少ない。

## 5 社会生活について

- (1) 小・中学生とも「今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」は少なく、地域行事に参加していない児童・生徒が多い。
- (2) 「人が困っているときは進んで助けている」と答えた小・中学生が多い。
- (3) 小・中学生とも「近所の人に会った時はあいさつをしている」は多い。

## 6 意識調査等について

- (1) 「自分にはよいところがあると思うか」は、中学生がやや少ないが、多くの小、中学生が「将来の夢や目標をもっている」と答えている。
- (2) 多くの児童・生徒が「人の気持ちが分かる人間になりたい」「いじめはいけないことだ」と思っている。
- (3) 多くの児童・生徒が「人の役に立つ人間になりたい」と思っている。

## 7 自然体験、社会体験等について

- (1) ほとんどの小・中学生が、「ものごとを最後までやり遂げて嬉しかった」という経験をもっている。

## 8 授業について

- (1) 「総合的な学習の時間」について  
「好き」は小学生では多く、中学生では半数程度である。  
「役に立つと思う」は小学生では多いが、中学生ではやや少ない。
- (2) 国語の授業について  
小、中学生とも「好き」は半数くらいだが、「よくわかる」「大切だと思う」は多い。  
児童・生徒とも、自分の考えを、話したり、書いたりする機会はあまり多くない。  
児童・生徒とも、意見を発表するとき、考えを書くとき、文章を読むときに工夫した取り組みが、ややできない傾向にある。
- (3) 算数（数学）の授業について  
「好き」は 国語に比べて小学生はやや多く、中学生は半数くらいである。  
「大切だと思う」は小学生でかなり多く、中学生も多い。  
「よくわかる」は国語と比べて、小・中学生ともに同じくらいである。
- (4) 読書について  
「好き」は中学生で全国・県と同じくらいであるが、小学生は全国・県よりやや少ない。  
読書量についても、小学生、中学生それぞれ同じ傾向である。

## 9 解答時間等について

- (1) 「時間が足りなかった」と答えた小学生が多い。小学生では国語A国語Bに特に多く、算数Bでやや多い。中学生では昨年度に比べて減少した。
- (2) 記述式の問題で「最後まで解答を書こうと努力したか」は、全国・県に比べると小・中学生ともやや少ない。